

林業公社の経営安定化に対する支援について

【農林水産省・林野庁・総務省】

提案・要望の内容

地球温暖化防止をはじめ森林の有する多面的機能を持続的に発揮する「美しい森林づくり」を推進するうえで、重要な役割を担っている林業公社の経営安定化に対する支援策を充実すること。

1 分収林制度の見直し

分収林制度について、公益的機能に配慮した長伐期施業などの新たな施業への転換に伴う分収契約の変更等を円滑に実施するための法・税制度等を整備すること。

2 累積債務対策

株式会社日本政策金融公庫資金の既往債務について、現在取り組んでいる森林の多面的機能の発揮に資する長伐期施業の伐期に対応しうるように、償還時期が長く、低利の借換資金制度を創設するなど元利金返済負担軽減措置を実施すること。併せて、森林整備活性化資金の融資対象事業の拡大を行うこと。

【現状と課題】

島根県林業公社は、国が措置した様々な施策を活用しつつ、経営改善に向けた取組を積極的に行っているが、経営の安定化を図るためには更に一層の施策の充実を図る必要がある。喫緊の課題である分収林制度の見直しを始め、既往債務問題の解決といった森林整備法人等の抜本的改革を行わなければ、今後の適切な森林管理に支障をきたし、地球温暖化防止など、益々重要性を増す森林の果たす多様な機能を十分に発揮できないばかりか、地方自治体財政にも重大な影響を及ぼすことが危惧される。

このため、現在、国と地方で「林業公社の経営対策等に関する検討会」が設置され、林業公社の経営安定化に向けた抜本的な対策の検討が行われているところである。

○島根県林業公社設立の経緯とその役割

- ・国策であった拡大造林政策の担い手として、多くの条件不利地域において2万2千ヘクタールの森林整備を行い森林資源の充実を図り、山村地域振興等に大きく寄与してきた。
- ・今後も長伐期化して抜き伐りを繰り返す施業を実施することとしており、長期にわたり森林の持つ多面的機能の高度・持続的発揮、山村地域における雇用機会の創出等の重要な役割が期待されている。

○島根県林業公社の累積債務の問題

- ・事業資金を日本政策金融公庫等からの借入金により賄わざるを得なかったことから、多額の累積債務を抱え、また、林業の採算性の悪化により極めて厳しい状況にある。
- ・収入がほとんど得られない状況の中で、日本政策金融公庫等への償還が始まり、そのために新たに県等から借入れを行うという困難な経営状況に陥っている。
- ・借入金残高は年々増加し、517億円に達している。
- ・全国36都道府県に40ある林業公社の経営問題は構造的な課題を含んでおり、地方だけでは解決困難な問題となっている。

○木材価格の低落による経営環境の悪化

- ・分収林事業の収支は木材価格に大きく左右され、最近の木材価格を元に試算した長期収支予測では、最終的に多額の収入不足額の発生が予想される。

- 地球温暖化防止対策に向けた森林の適切な整備・保全の推進
 - ・国では「地球温暖化防止森林吸収源10ヶ年対策」を策定し、森林の有する多面的機能の観点から長伐期施業などの多様で健全な森林づくりを推進している。
 - ・林業公社は、長期間にわたる森林管理の重要な担い手として期待されている。
- 伐期の長期化による管理経費の増大
 - ・島根県林業公社でも経営林の長伐期化を進めているが、これに伴う変更契約及び変更登記費用並びに維持管理経費の増大に苦慮している。

【本県の取組状況・方針】

- 長伐期施業の推進
 - ・森林吸収源10ヶ年対策に基づき、本県においても多様で健全な森林づくりに向けた森林の整備・保全を推進しており、林業公社経営林において長伐期施業への転換を推進している。
- 島根県林業公社の経営改善策を積極的に支援
 - ・県の財政状況が厳しい中、貸付金の無利子化、森林整備事業への補助の上乗せ、長伐期施業転換補助金、不成績林処理補助金など、林業公社に対して積極的な支援施策を実施している。

【提案・要望の効果】

国は平成19年2月に「美しい森林づくり推進国民運動」推進本部を設置し、100年先を見据えた広葉樹林化、長伐期化、針広混交林化等多様な森林づくりを推進している。

これを推進するうえで極めて重要な役割を担っている林業公社が、経営安定化を図り、将来にわたり健全経営を維持・継続することによって、地球温暖化防止をはじめ森林の有する多面的機能を最大限発揮する「美しい森林づくり」を推進できる。

～林業公社の経営安定化と森林の持つ多面的機能の発揮～

